

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦

「2024年度駅業務執行体制の再構築について」 (横浜駅改札1徹減を認めない)の団体交渉を行う!!

9月10日、申第1号「2024年度駅業務執行体制の再構築について(横浜統括センター横浜駅)」に関する申し入れの団体交渉を行いました。10月1日より実施される横浜駅改札・作業ダイヤの見直し(8徹→7徹)は実施しないことを求めて団体交渉を開催しました。

【申し入れ内容】

1.【横浜統括センター(横浜駅)】

今施策において、実施予定の「営業体制の見直し」(改札担当の作業ダイヤの見直し)は、実施しないこと。

【会社回答】

提案の体制で対応可能と考えている。

組合

- ・改札社員を1徹減らすとする根拠を示すべき。
- ・要員が減ることで、この間培ってきた何かあったら駆けつけるということが難しくなる。
- ・時代の変化もあるが、社員の不満からくる離職者も多くなっている。会社にとって施策が良くても、社員のモチベーションを高めない限り施策はうまくいかない。数字だけの判断で施策を進めてはいけない。

会社

- ・異常時は駅総体(出札・警備・テンポラリースタッフ等)で対応ができています。
- ・フレキシブル勤務の取得などで柔軟な勤務が可能となっている。
- ・人命に関わる場合は、最優先で今後も駆けつけ文化を継続して欲しい。改札を閉めて駆けつけても構わない。
- ・社会環境の変化もあり、今後も効率的な駅業務の執行体制を再構築していかなければならない。

**議論は平行線！社員のモチベーションが下がる施策で
「変革2027」を成し遂げる事が出来るのか？
会社は社員の本音に声に耳を傾けるべきだ！！**